

ダイワコーポレーション社長 曾根 和光氏

絶対に
あつては
ならな
い、全く
理解でき
ない東欧



の大国のウクライナへの侵攻から4カ月が過ぎようとしている。時の経過とともにマスクミの取り上げ方が小さくなっていること、職場や取引先との会話で話題になることが減っていることに気付く。これではいけないと強く思う。

義憤通り越し「痛憤」

ルー&イエロ
ーが印象的な
国旗の意味を

ウクライナ関連のニュースを視聴したり、読んだりするようになっているが、その時の感情をどう表せばよいかを考えていた。先日、テレビでコメントーターが「義憤に堪えない」という表現を使っていた。正にこれである。意味を調べる

と、「道義に外れたこと、不公平なことに對



するいきどおり」などのこと。私の大好きな「義」(人間の行動・思想・道徳で「よい」「正しい」とされる概念)に「憤」を付けるだけですごくしっくりきた。一日も早く侵攻が終結することを切望するとともに、直接・間接を問わず我が国が終結に向け積極的に関与・貢献することを強く望む。町を歩き色々なショップで綺麗な青色や黄色、カーキ色の商品を見掛けると、ウクライナを思い出す。鮮やかなブルー&イエローが印象的な国旗の意味を調べた。上半分にブルー、下半分にイエローが配されているのにはもちろん意味がある。ブルーは青空、イエローは小麦を表している。世界有数の麦生産国を自分勝手な理由で侵攻している暴君のせいで、麦を原料とする製品は値上がり中である。どう責任を取ってくれるのか？ 私は義憤を通り越し、「痛憤」している。健康にも悪影響なので、早く平穏な心に戻らせて欲しいものである。